

平成26年7月8日

皆様へ

農工大ティー・エル・オー株式会社
代表取締役社長 伊藤 伸

技術移転事業の東京農工大への統合と承認計画の承認取消しについて

農工大ティー・エル・オー株式会社は、大学の研究成果である特許等のライセンス事業（技術移転事業）を平成26年度に東京農工大学先端産学連携研究推進センターに移管し、統合することとしました。

平成13年10月の会社設立以来、積極的に特許のマーケティング活動を進めてきましたが、ここ数年、ライセンス契約によるロイヤリティ収入は低い水準にとどまっています。さらに農工大を含め、国内の主な研究大学では、国内特許出願の6割超が企業等との共同出願であり、当社のように単独出願のライセンスのみを大学から切り出した技術移転事業は非効率になっています。

こうした状況を鑑み、業務提携基本契約を締結している農工大と協議した結果、リサーチ・アドミニストレーターが配置されている先端産学連携研究推進センターが特許の出願・権利化から技術移転まで一元的に管理し、産学連携活動の一段の発展を目指すことが望ましいと判断しました。

当社がライセンスした農工大出願の特許については契約主体を農工大に移す予定です。当社が保有する特許は、契約相手先を始めとする関係者と協議の上で、農工大が選別して引き継ぐ等の取り扱いを定めることにしました。

技術移転事業の統合に伴い、特定大学技術移転事業の承認計画（承認TLOとしての実施計画）については文部科学省及び経済産業省に取り下げ申請をし、7月1日付で両省から承認計画の承認取消し通知を受けました。

今後、当社は、自動車の予防安全技術に関するデータベース事業（ヒヤリハット）や太陽電池用シリコンに関する研究プロジェクト、終了したプロジェクトのフォローアップ等に絞り込んで事業を継続していきます。

これまでのご高配に心より御礼を申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。